

中野市

学校教育系施設個別施設計画

(令和8年度～令和17年度)

令和8年3月 策定

長野県中野市

目次

第1章 個別施設計画策定の目的と計画期間	
1 計画策定の目的	1
2 計画期間	1
第2章 個別施設計画を取り巻く現状と課題	
1 市有施設の状況	2
2 対象施設	2
3 施設の管理運営に掛かる経費及び利用状況	2
4 基本的な方針	3
5 「今後の方針」について	3
第3章 対策の優先度の考え方	
1 対策の優先度の考え方	6
2 対策の実施方法	6
第4章 対策内容と実施時期	
1 対策内容の考え方	6
2 対策の優先度	7
3 対策費用	7

第1章 個別施設計画策定の目的と計画期間

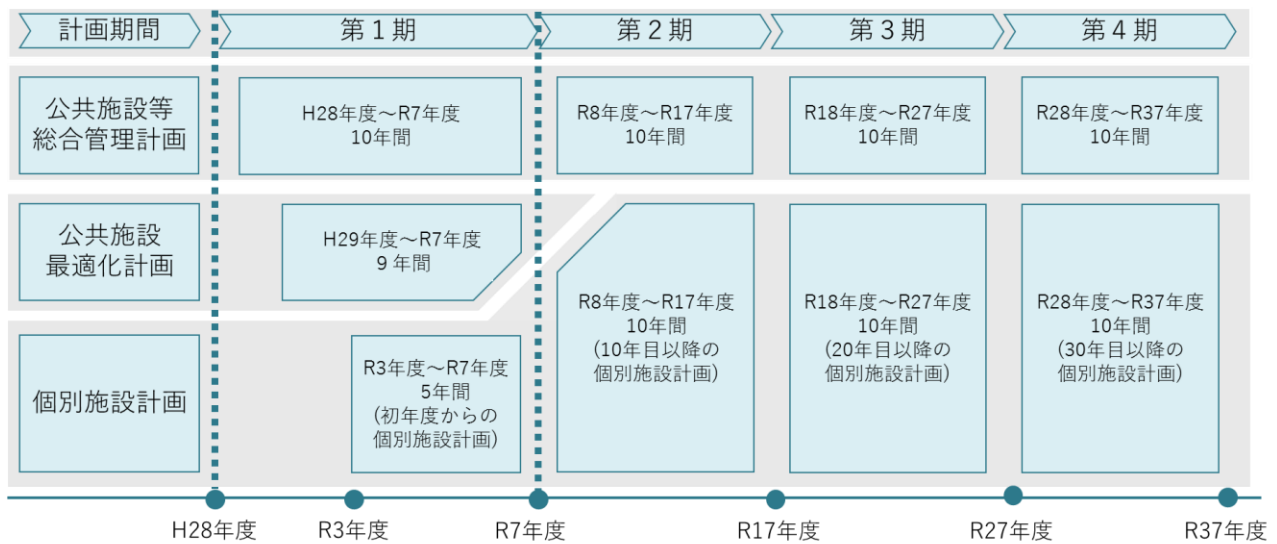
1 計画策定の目的

本計画は、「中野市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）の目的を実現するために、施設ごとに今後の具体的な対応方針を定めるものです。

2 計画期間

本計画の計画期間は、上位計画である総合管理計画の計画終了年度とあわせ令和8年度から令和17年度までとします。

また、公共施設の計画的な施設管理には長期的に取り組む必要があることから、第1～4期に分け、第2期以降、10年ごとに個別施設計画の見直しを行います。（既存計画等に従い進めるものは、この限りではありません。）



第2章 個別施設計画を取り巻く現状と課題

1 市有施設の状況

令和7年4月1日現在で本市が保有する公共施設は259施設、452棟、延床面積（総量）は185,403.88㎡となります。最も広いのは学校教育系施設で76,746.98㎡（41.4%）、次いで子育て支援施設で16,854.97㎡（9.1%）市営住宅で16,202.09㎡（8.7%）になります。

公共施設の多くは、昭和40年代から平成にかけて建設されました。築50年以上を経過する建物も90棟あり、生産年齢人口が減少する中、全ての建物を更新することは難しい状況です。

2 対象施設

本計画で対象とする施設は、大分類「学校教育系施設」を対象とし、施設類型ごとに記述します。

小中学校については、中野市小中学校長寿命化計画が策定されており、本計画では施設の方向性と延床面積について記述します。

施設の状態については、現地における目視等で点検した当該施設の劣化状況について示しています。

状態	内 容
A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上・機能上の低下の兆しが見られる。
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある。

表：対象施設一覧表（学校給食センター）

施設名	耐震	棟名	建築年	構造	階数	延床面積	状態
南部学校給食センター	有	南部学校給食センター	H19	S	2/0	1,704.23 ㎡	D
北部学校給食センター	有	北部学校給食センター	H18	S	2/0	1,653.05 ㎡	D

※(未)は、耐震診断未了の意

※延床面積は（R7.4）のもの

3 施設の管理運営に掛かる経費及び利用状況

表：管理運営経費情報一覧表（学校給食センター）

施設名	歳入（千円）				歳出（千円）				
	補助金	使用料 手数料	その他	計	光熱 水費	維持 保全費	使用料 賃借料	人件費	計
南部学校給食センター	0	0	62,421	62,421	26,414	207,113	0	7,320	240,847
北部学校給食センター	0	6	57,699	57,705	21,197	184,759	1,724	14,639	222,319

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

表：施設利用者情報一覧表（学校給食センター）

施設名	年間開館日数	利用者数	稼働率	利用者1人 当たりコスト	床面積1㎡ 当たりコスト
南部学校給食センター	207日	355,424人	100.0%	678円/人	141,323円/㎡
北部学校給食センター	206日	342,473人	100.0%	649円/人	134,490円/㎡

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

4 基本的な方針

小中学校については、「中野市小中学校長寿命化計画」に基づき適正配置を進めます。校舎等は、計画的な改修、整備を行います。統合により利用されなくなった校舎等は、利活用法を検討します。

南部学校給食センター及び北部学校給食センターについては、経年劣化による設備等の老朽化や今後の児童生徒数の減少傾向などを踏まえ、業務運営の効率化や経費の削減等を図るため、両学校給食センターを統合します。

5 「今後の方針」について

施設の方針を「機能（ソフト）」と「建物（ハード）」に分けて、それぞれ検討します。

各方針については、施設の状態や施設機能、利用状況などを考慮しながら、今後の方針を設定します。

施設	方針	内容
機能 (ソフト)	現状維持	公共施設の機能として維持
	複合化	複数の機能を持つ施設に変更
	統合	同じ機能の施設を一つに集約
	廃止	公共による事業の終了
	転用	施設の機能を異なる機能に変更
	移転	施設の機能を他の施設に移転
	検討継続	施設のあり方の検討
建物 (ハード)	現状維持	施設を維持
	取壊し	施設を解体
	建替え・新設	施設を解体し、新たに建替え又は新設
	改修	施設の改修と修繕
	譲渡・貸付	施設を譲渡又は貸付
	返還	施設を所有者へ返還
	検討継続	施設のあり方の検討

表：公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

施設類型	施設名	標名	R7.4現在 延床面積	今後の方針		縮減面積	完了 予定	R8.3現在 延床面積	取組の内容
				機能	建物				
小学校	中野小学校	高学年棟	2,387.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,387.00㎡	
		低学年棟	1,552.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,552.00㎡	
		特別教室棟	1,672.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,672.00㎡	
		管理特別教室棟	2,064.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,064.00㎡	
		屋内運動場	1,171.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,171.00㎡	
		屋内運動場（小）	353.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	353.00㎡	
		北側図工室他	232.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	232.00㎡	
		（その他）	51.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	51.00㎡	
	日野小学校	普通教室棟	2,132.90㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,132.90㎡	
		管理特別教室棟	1,048.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,048.00㎡	
		屋内運動場	838.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	838.00㎡	
		昇降口棟	286.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	286.00㎡	
		（その他）	96.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	96.00㎡	
	延徳小学校	普通教室棟	1,833.80㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,833.80㎡	
		管理特別教室棟	2,003.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,003.00㎡	
		屋内運動場	929.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	929.00㎡	
		（その他）	157.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	157.00㎡	
	平野小学校	普通教室棟	2,080.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,080.00㎡	
		普通教室棟	280.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	280.00㎡	
		普通教室棟	1,056.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,056.00㎡	
		管理特別教室棟	1,723.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,723.00㎡	
		図工室他	84.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	84.00㎡	
		屋内運動場	1,003.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,003.00㎡	
		（その他）	161.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	161.00㎡	
		高丘小学校	普通教室棟	1,248.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,248.00㎡
	高丘小学校	普通教室棟	785.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	785.00㎡	
		特別教室棟	962.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	962.00㎡	
		屋内運動場	808.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	808.00㎡	
		昇降口棟	212.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	212.00㎡	
		廊下	28.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	28.00㎡	
（その他）		96.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	96.00㎡		
高社小学校		普通教室棟	2,079.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,079.00㎡	
高社小学校	普通教室棟	159.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	159.00㎡		
	管理特別教室棟	2,106.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	2,106.00㎡		
	管理特別教室棟	346.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	346.00㎡		
	屋内運動場	1,303.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,303.00㎡		
	プール付属棟	62.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	62.00㎡		
	豊田小学校	小学校棟	1,473.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,473.00㎡	
豊田小学校	普通教室棟	540.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	540.00㎡		
	特別教室棟	122.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	122.00㎡		
	渡廊下	44.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	44.00㎡		
	屋内運動場	1,421.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	1,421.00㎡		
	プール付属棟	70.00㎡	現状維持	現状維持	-	-	70.00㎡		

表：公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

施設類型	施設名	棟名	R7.4現在 延床面積	今後の方針		縮減面積	完了 予定	R8.3現在 延床面積	取組の内容	
				機能	建物					
中学校	南宮中学校	普通教室棟	3,611.00㎡	現状維持	現状維持		-	3,611.00㎡		
		管理特別教室棟	3,114.00㎡	現状維持	現状維持		-	3,114.00㎡		
		管理特別教室棟	1,113.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,113.00㎡		
		屋内運動場	1,382.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,382.00㎡		
		武道場（第2体育館）	689.00㎡	現状維持	現状維持		-	689.00㎡		
		武道場	507.00㎡	現状維持	現状維持		-	507.00㎡		
		昇降口棟	1,235.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,235.00㎡		
		（その他）	431.00㎡	現状維持	現状維持		-	431.00㎡		
	中野平中学校	普通教室・管理特別教室棟	6,170.00㎡	現状維持	現状維持		-	6,170.00㎡		
		屋内運動場	1,492.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,492.00㎡		
		武道場	576.00㎡	現状維持	現状維持		-	576.00㎡		
		（その他）	247.00㎡	現状維持	現状維持		-	247.00㎡		
	高社中学校	普通教室棟	1,703.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,703.00㎡		
		管理特別教室棟	3,491.00㎡	現状維持	現状維持		-	3,491.00㎡		
		屋内運動場	2,109.00㎡	現状維持	現状維持		-	2,109.00㎡		
		武道場・技術科棟	1,166.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,166.00㎡		
		武道場（小体育館）	360.00㎡	現状維持	現状維持		-	360.00㎡		
		（その他）	309.00㎡	現状維持	現状維持		-	309.00㎡		
	豊田中学校	普通教室棟	1,944.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,944.00㎡		
		普通教室棟（トイレ）	9.00㎡	現状維持	現状維持		-	9.00㎡		
		特別教室棟	1,126.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,126.00㎡		
		屋内運動場	1,080.00㎡	現状維持	現状維持		-	1,080.00㎡		
		渡廊下2	34.00㎡	現状維持	現状維持		-	34.00㎡		
		東棟	435.00㎡	現状維持	現状維持		-	435.00㎡		
	学校給食センター	南部学校給食センター	南部学校給食センター	1,704.23㎡	移転	検討継続		R9	1,704.23㎡	
		北部学校給食センター	北部学校給食センター	1,653.05㎡	移転	取壊し	1,653.05㎡	R9	1,653.05㎡	

表：令和7年4月1日から令和8年3月末までに縮減した面積

施設類型	施設名	棟名	R7.4現在 延床面積	今後の方針		縮減面積	完了 予定	R8.3現在 延床面積	取組の内容
				機能	建物				

※施設縮減目標の達成状況を確認するため、計画対象外の施設を含む、施設の大分類「学校教育系施設」全体について記載しています。

第3章 対策の優先度の考え方

1 対策の優先度の考え方

個別施設の状態（施設の損傷及び部材や材料の劣化の状況やその要因等）の他、当該施設が果たしている役割、機能、重要性等を考慮し、対策の優先度を明確にします。ただし、優先度については、施設の今後の方針や施設状況、社会情勢から、総合的に判断しながら柔軟に対応します。

〔優先度の考え方〕

- ① 本計画 第2章 表：公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針
- ② 施設の状態（第2章に記載）
- ③ 利用状況（第2章に記載）

2 対策の実施方法

本計画に基づき定期的に点検・診断、修繕を行い、施設の継続的な維持管理を実施するため、計画、実行、検証、改善のPDCAサイクルにより安全で快適な施設の維持管理に努めます。

第4章 対策内容と実施時期

1 対策内容の考え方

公共施設等の機能を維持するうえで必要となるメンテナンスは、施設の規模、設置環境、利用状況等によって大きく異なり、過度な対応は管理経費の増大を招き、過小な対応は機能の維持や利用者の安全確保に支障を来たす可能性があります。

維持管理に当たっては、各施設の設置環境や利用状況を分析し、将来必要となる機能や、それを維持し続けるためのメンテナンスサイクルを構築するための管理基準として、今後も維持する公共施設については「中野市公共施設保全ガイドライン」に基づき、非木造施設は80年、木造施設は60年を目標使用年数として、定期的な点検、診断を実施し、計画的な維持補修によって長寿命化を推進します。

既存施設の更新に際しては、その施設のニーズを精査し、将来の負担を増やさないためにも必要な施設のみ更新をします。

構造別の目標使用年数

構造種別	目標使用年数
SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)、RC(鉄筋コンクリート造)、PC	80年
S(鉄骨造)、CB(コンクリートブロック)	80年
LS(軽量鉄骨造)、W(木造)	60年

2 対策の優先度

第3章の考え方を基本に、各施設の対策優先度を定め、順位の高い施設から必要な措置を講じます。

表：対策優先度一覧表（学校給食センター）

優先度	施設名	実施内容
1	南部学校給食センター	設備等の老朽化が著しいことや少子化を考慮した適正な施設整備を実施するため、新たな場所へ建設・移転し、2施設を統合する。建物は、公共施設としての利活用や民間への譲渡などを検討する。
2	北部学校給食センター	設備等の老朽化が著しいことや少子化を考慮した適正な施設整備を実施するため、新たな場所へ建設・移転し、2施設を統合する。建物は、取壊しを行う。

3 対策費用

費用の算出については、第1次計画の数値を基礎としているが、近年の建設資材価格の高騰や労務費の上昇、施設の劣化状況の変化を反映させるため、その都度費用算出するものとする。